

泌尿器科に通院中の患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究に参加しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

【研究課題名】 尿膜管疾患に対する腹腔鏡下尿膜管摘出術に関する全国調査

【研究機関名・長の氏名】 北海道大学病院 秋田 弘俊

【研究責任者名・所属】 安部 崇重（泌尿器科・准教授）

【研究代表機関名・研究代表者名・所属】 関西医科大学附属病院 腎泌尿器外科
木下秀文・准教授

【共同研究参加機関名・研究責任者名】

関西医科大学附属病院	木下 秀文
秋田大学	羽渕 友則
杏林大学	桶川 隆嗣
東京歯科大学市川総合病院	中川 健
東海大学	宮嶋 哲 金 伯士
静岡県立総合病院	吉村 耕治
滋賀医科大学	河内 明宏
徳島大学	金山 博臣
広島大学	松原 昭郎
大分大学	三股 浩光 佐藤 文憲
筑波大学	星 昭夫
帝京大学ちば総合医療センター	納屋 幸男
山形大学	土谷順彦
大津市民病院	七里泰正
札幌北楡病院	三浦 正義

【既存情報の提供のみを行う機関】 北海道大学病院 安部 崇重

【研究の目的】 尿膜管疾患に対する腹腔鏡手術の日本の現状を明らかにし、今後、術式の標準化に向けた基盤的なデータを構築することを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2000 年 1 月 1 日から 2018 年 12 月 31 日の間に北海道大学病院泌尿器科において、尿膜管疾患に対する腹腔鏡手術を施行した患者さんを対象とします。

○利用するカルテ情報

カルテ情報：

- ①臨床所見（年齢、性別、体重、尿膜管疾患の症状、病変部位など）
- ②周術期データ（手術の種類：伝統的腹腔鏡手術・リデュースド・ポート手術（鉗子の数を減じた手術）・単孔手術など、手術時間、気腹時間、出血量、ポート位置、カメラ位置など）
- ③手技（臍、膀胱、腹膜 等の処理法）
- ④手術に関連する合併症など（ポートの追加の有無、開腹術への移行の有無、など）
- ⑤術後合併症

この研究は、全国で尿管膜疾患の治療を行っている機関で実施します。上記のカルテ情報は解析のために、研究代表施設である関西医科大学附属病院 腎泌尿器外科に匿名化された状態で電子的配信にて送付されます。

[研究実施期間] 実施許可日～2020年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

＊上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院泌尿器科

電話 011-716-1161

担当医師 安部 崇重

FAX 011-706-7853